

小中学校の教科書にあらわれる樹木と生徒の実際の知識

村野紀雄

はじめに

林業試験場に林業関係者以外の人が多く見えるようになり、ときおり、近くの小中学生たちもくるようになった。たいがい、遠足とかねあわせの見学であるから、ひととおり歩きまわったあと、場内のローンで食事をとったり、遊びまわったりしているので、案内者にも気軽に楽しい時間となる。しかしかんじんの樹や森や木材の説明に対してはほとんど質問もないので、少年たちがどのような知識をもち、どの程度説明を理解しているのか、考えさせられることもある。そこで、ここでは、この少年たちが、まず樹木に対してどのような理解をもっているか、その1つのめやすとして教科書にあらわれる樹木について調べてみた。また、生徒たちがどれぐらい樹の名前を知っているか、実際に2つの学校で調べたので、それについて述べてみたい。

なお初めにあってとくに、使用中の教科書を授業の間に貸してくださった美唄市中央小学校の斉藤敦夫教諭や、卒業前の貴重な授業時間をさいて調査に協力してくださった美唄市立峰延小学校の松村秀夫校長と各学年担当の先生方や生徒たち、美唄市立東明中学校の林清一教諭や生徒たちに厚くお礼を申しあげる。また、この文は当場の渡辺研究第1部長に最初の示唆を与えられたもので、その後、当场企画指導科の方々の協力によったものである。

植教科書の樹木

植物関係の単元（文末資料）

1969年度（昭和44年度）に空知支庁管内で広く使用されていた理科の教科書は、小・中学校とも、東京書籍株式会社発行のものである。その中で、植物に関係のある単元名とその単元中にあらわれる植物名、および同社出版の教師用指導書によるその単元の学習



内容を調べると文末資料に示すように、小・中学校を通して237単元（小学校148単元、中学89単元）あるうち、植物が関係している単元は67単元（小学校48単元、中学校19単元）がみとめられる。このうちでも樹木の名称がでてくるものは31単元（小学校20単元、中学校11単元）で全単元の13%にあたる。

理科以外の教科書では、目を通すことのできた株式会社教育出版の小学校社会科の各学年上

のうち、3年上では「山の村と海への町」4年上では「美しい自然と人々の暮らし」5年上で「日本の林業と水産業」という単元で、いくつかの樹木がとりあげられているほか、同じ教育出版の国語でも各学年に植物名が出てくる単元がある。算数でも、バラやイチゴで数の計算がされているなど、ほとんどあらゆる教科書にかんたんな形で樹木やそのほかの植物名がみいだされる。

ここでは全学年を通じて手にいれることのできた理科の教科書にじぼってそのなかにあられる樹木を見てみたい。

出現樹本（表－1）

前記の理科の教科書にあられる87種の樹木の実際の記載状況をみると、写真やさし絵などに、葉や果実、花など、何らかの形が掲載されているものに、小学1年のソメイヨシノなど66種がみとめられる。これらのうちで、とくに観察や実験という項目の中で用いられている樹木は全学年を通じて、サクラ、ヤナギ、ソメイヨシノ、カキ、マツ、チャ、ツバキ、アオキ、クワ、タケのわずか12種しかないが、本文中で実際上、観察の説明のような形でとりあげられているものに次のような例がある。小学校では1年生で、花の観察材料として、サクラが、色ずいた葉や実を觀賞するものとして、ドウダンツツジ、ツタ、カキ、ポプラ、イチヨウ、ケヤキ、カシ、シイ、リンゴ、ミカンがでてきている。2年生では、木の葉と木の実の観察として、マツ、スギ、ツバキ、ヒサカキ、ニシキギ、シイ、コナラが、また夏のやまの観察として、ナンテンハギ、早春の野外の木の観察として、サクラ、モクレン、ツバキ、ネコヤナギ、モモがとりあげられている。3年では、春のころの野外観察としてサクラとヤマブキが、また、さし木のしかたをヤナギ、アジサイ、カエデでかんたんに説明している。このほか、秋のころの観察としてサクラの落葉をとりあげている。4年生ではとくに樹木をとりあげてはいないが、5年になると、花のつくりのことをソメイヨシノ、モモ、ナシ、クサボケ、ヤマツツジ、オオムラサキ、サツキ、ドウダンツツジなどで説明している。6年では、クワやアジサイを使って光合成のしくみを説明しているほかで後学期になると、全学年を通じてはじめて森林についての単元がでてきて、スギ、ヒノキ、マツ、クヌギ、ブナ、ヒサカキ、アオキ、エゾマツ、シイ、キズタ、フジ、ヤドリギを使って森林のしくみや役割をのべている。

中学にはいると、1年では、植物の分類という項目にからんで、マツの花と種子の様子がのべられ、2年では、水の蒸散作用の説明にツバキ、マサキを用いている。3年には、とくに特定の樹木の説明は見い出されない。

以上のように、教科書に出てくる樹木は少なくないが、それらの樹木は、道内に普通にみられるものは少ないので（表－2）、実際の教材には代替物を使用しているか、あるいは実物のない説明だけに終わっていることが多いように思われる。

表 1 学年別の出現樹木

昭和44年度教育出版理科

学 年	全 ペ ー ジ		図や写真として掲載されているもの		実験栽培用として 記載されているもの
	記 載 樹 木 名	計	樹 木 名	計	
小学1年	サクラ・ササ・カエデ・ドウダンツツジ・ツタ・カキ・ポプラ・イチョウ・クリ・ケヤキ・カシ・シイ・リンゴ・ミカン・ハゼ	15	ソメイヨシノ・ササ・カエデ・ドウダンツツジ・ツタ・カキ・ポプラ イチョウ・クリ・カシ・シイ・リンゴ・ミカン・ハゼ	13	サクラ
小学2年	ナンテンハギ・マツ・スギ・ツバキ・ヒサカキ・ダリア・ニシキギ・ヌルデ・クリ・サルトリイバラ・ガマズミ・シイ・コナラ・サクラ・モクレン・ネコヤナギ・モモ・クヌギ	19	ナンテンハギ・マツ・スギ・ツバキ・ヒサカキ・ニシキギ・ヌルデ・クリ・サルトリイバラ・ガマズミ・クヌギ・シイ・コナラ・サクラ・モクレン・モモ	16	
小学3年	サクラ・クサボケ・ヤマブキ・ヤマツツジ・ヤナギ・アジサイ・カエデ・マサキ・イチジク・クス	10	クサボケ・ヤマブキ・ヤマツツジ・アジサイ・ヤナギ・カエデ・マサキ・イチジク・マツ	9	サクラ・ヤナギ・カエデ・マサキ・イチジク
小学4年	フジ・サクラ・マサキ・モクレン・ツバキ・スモモ・ダリア・サンショウ・カラタチ・ミカン・アオキ	11	フジ・サクラ・マサキ・モクレン・ツバキ	5	フジ
小学5年	ソメイヨシノ・モモ・ナシ・クサボケ・ヤマツツジ・オオムラサキ・サツキ・ドウダンツツジ・カキ・ツツジ	10	ソメイヨシノ・モモ・ナシ・クサボケ・ヤマツツジ・オオムラサキ・ドウダンツツジ・カキ	8	ソメイヨシノ・カキ
小学6年	コウゾ・ミツマタ・ガンピ・アカマツ・トドマツ・エゾマツ・ブナクワ・スギ・ヒノキ・ヒサカキ・アオキ・クリ・シイ・ヤドリギ・フジ・コメツガ・シラカシ・タブノキ・アセビ・ヤブコウジ・キズタ・アケビ・クロモジ・クヌギ・シャクナゲ・ツタウルシ	27	アジサイ・スギ・ヒノキ・マツ・ブナ・クヌギ・ヒサカキ・クワ・コウゾ・ミツマタ・ガンピ・アオキ・クリ・トドマツ・アカマツ・エゾマツ・シイ・キズタ・コメツガ・タブノキ・シラカシ・アケビ・アセビ・アケビ・ヤブコウジ・クロモジ・シャクナゲ	26	
中学1年	サクラ・フジ・ノイバラ・モモ・ハナカイドウ・カシ・マツ・ヤナギ(イヌコリヤナギ)スギ・イチョウ・ソテツ・カキ・シラカンバ・シイ アオキ・アカマツ・モクレン・ツバキ・ヤドリギ・トドマツ・ツツジ・クロマツ・ナラ・ブナ・クリ・トチノキ・シラビソ・エゾマツ・チャ・コケモモ	29	サクラ・エニシダ・ノイバラ・モモ・ウメ・クリ・カシ・マツ・スギ・ヤナギ(イヌコリヤナギ)イチ ツウ・ソテツ・シラカバ・シイ・アオキ・ツバキ・ヤドリギ・トドマツ・クロマツ・ブナ・ナラ・トチノキ・シラビソ・エゾマツ・アカマツ	25	マツ・チャ
中学2年	マツ・イチョウ・ツバキ・マサキ・ヒイラギ・クワ・メタセコイヤ・ヤマブキ・ユーカリ・タケ	10	マツ・イチョウ・ツバキ・ニワトコ	4	ツバキ・マサキ・クワ・タケ
中学3年	タケ・サクラ・アオキ・マツ・ツツジ・カキ・イチョウ・ソテツ・ヤナギ・オランダイチゴ・イトヤナギ・ミカン・カエデ・バラ・ウメ・リンゴ・リンボク・ロボク・フウインボク	19	マツ・ヤナギ・イトヤナギ・オランダイチゴ・タケ・アオキ・ツツジ・カキ・カエデ・リンボク・ロボク・フウインボク	12	
87 種類			66 種類		

表 2 教科書にあらわれる樹木の身近さ（空知地方）

比較的身近のもの			身近に見ることの困難なもの																	
道内	在来種	移入種	道内	在来種	道外種															
サ	ク	ラ	カ	ラ	マ	ツ	コ	ナ	ラ	イ	チ	ジ	ク	シ	ラ	カ	シ			
ク		リ	ノ	イ	バ	ラ	ブ		ナ	イ	ヌ	コ	リ	ヤ	ナ	ギ	タ	ブ	ノ	キ
マ	ツ	ツ	エ	ニ	シ	ダ				ヌ	ル	デ					ア	セ	ビ	
ニ	シ	キ	ギ	ウ			メ				ク		ワ				ヤ	ブ	コ	ウ
サル	トリ	イ	バラ	イ	チ	ヨ	ウ				ヒ		ノ	キ			ク	ロ	モ	ジ
ガ	マ	ズ	ミ	ド	ウ	ダン	ツ	ツ	ジ		シ	ラ	ビ	ソ			ギ	ョ	リ	ユ
ネ	コ	ヤ	ナ	ギ	ボ	ブ	ラ				チ			ヤ			ハ	ナ	カ	イ
ヤ	マ	ツ	ツ	ジ	ケ	ヤ	キ				ソ	テ	ツ				ヒ	イ	ラ	ギ
ヤ	ナ	ギ		リ		ン	ゴ				メ	タ	ヤ	コ	イ	ヤ	ユ	ー	カ	リ
マ	サ	キ		ソ	メ	イ	ヨ	シ	ノ		カ			キ			リ	ン	ク	ボ
ガ	ン	ピ		ツ		バ	キン				カ			シ			ロ	ボ	ク	
ト	ド	マ	ツ	モ	ク	レ	ン				シ			イ			フ	ウ	イ	ン
エ	ゾ	マ	ツ	ヤ	マ	ブ	キ				ミ	カ	ン				ス			ギ
ヤ	ド	リ	ギ	ア	ジ	サ	イ				ハ			ゼ						
シャ	ク	ナ	ゲ	フ			ジ				ナ	ン	テ	ン	ハ	ギ				
ツ	タ	ク	ル	シ	オ	ム	ラ	サ	キ		ヒ	サ	カ	キ						
ナ		ラ		ア	カ	マ	ツ				ク	ヌ	ギ							
ト	チ	ノ	キ	ク	ロ	マ	ツ				ク	サ	ボ	ケ						
シ	ラ	カン	バ	ダ		リ	ア				カ	ラ	タ	チ						
ニ	ワ	ト	コ								ア	オ	キ							
ク		ズ									ミ	ツ	マ	タ						
サン	シ	ョ	ウ								コ	メ	ツ	ガ						

調査

さて、上にあげたような教科書の樹木のことを、実際にはどれくらい知っているか、この教科書を使って授業を進めている空知支庁管内の美唄市立峰延小学校の 313 人(各学年 2 組ずつ)と美唄市立東明中学校の 219 人(各学年 2 組ずつ)について次のようなかんたんな調査を行なった。それは、「知っているかぎりの木の名前をぜんぶあげてください」という文字と、その下に 38 の枠を謄写印刷した B 5 版大の更紙を生徒たちに 1 枚ずつ渡し、書き終えるまで充分時間を与えて(峰延小学校 30～40 分、東明中学校 10～20 分)記入させ、記人数や種類を調べたものである。なお、両校の調査日は、峰延が 3 月 12 日で、卒業式前、東明が新学期に入った 4 月 7 日なので、東明中学校での調査の実質は、小学 6 年、中学 1 年、中学 2 年の終りに調べたのと同じと考えられよう。なお、また、両校は学区がちがっており、峰延小学校の卒業生が東明中学校へ入学するということがほとんどないので調査に重複はなかったと考えている。またこの 2 つの学校は場所的に大きなちがいをもっており、それぞれの特徴を若干述べるの次のとおりである。

峰延小学校は美唄市南方の岩見沢市に接する農村地帯に位置し、全校生徒数は各学年 2 組で計 320 人、このうち家庭が農家である生徒は 40%を占めている。校舎は峰延町の集落の中央にあるが、校庭には古い樹木が豊富で緑に囲まれている。

一方、東明中学校は美唄市の中央からやや西より、美唄炭山を間近かにする炭鉱地帯に位置し、近くには、ウレタンフォームなどの中小の工場がある。生徒数は 1 年生が 2 組、3 年生 3 組の計 252 人で、家庭の職業は、鉱業関係がもっとも多く 26%、そのほか鉄道関係・商工業など峰延よりバラエティに富んでいる。中学校の校庭には樹木類は峰延にくらべて乏しいが、すぐ近くに東明公園があり緑には比較的恵まれている

樹木の語彙の集計に際しては、少々の文字の書きあやまりがあっても、書きあらわそうとしている樹本が認められるもの（例 ひの木、ひいのき、ひのきの本 ひのき、えどまつ えぞまつ えぞあかまつ あかえぞまつ）は正しく直してあげているし、同じ種をちがった呼称で重複記名しているもの（例 プラタナス＝スズカケノキ、イチイ＝オンコ）をそのままあげた。このほか、あきらかに誤記と思われるものや意味不明のものはまちがい記名としてまとめた。

峰延小学校

樹木語彙（表 - 3 表 - 4）

最多記名者は 46 種をあげた 5 年生の女子であるが、6 年生の幾人かはもっと知っていそうな様子もある。それは、最多数記名者を出した 5 年生のこの組だけに、担任の先生から、用紙の裏もつかえるという注意があったらしいからである。ほかの組、とくに 6 年生では枠数以上に知っていそうな者が多く見られながら、裏まで書き続けているものが全然いかなかった。

表 - 4 によると、全校では、1 人あたり 22 種（1 年 11 種、2 年 16 種、3 年 14 種、4 年 19 種、5 年 29 種、6 年 30 種）の樹木を知っており、記名されたこれらの樹木は、種類にして 139 種の多きを数える。このうち、もっとも多くの子供によって記載されている樹種は、サクラで、さすが日本の国花と思わせる。このほかに多数の記名者を得ているものとしては、リンゴ、クリ、ナシ、ミカン、スギ、ドングリの木、ポプラ、イチヨウ、モモがあり、この 10 種は全校生徒の 70% 以上の生徒があげた。次に、ウメ、ヤシ、カキ、マツ、ウルシ、ヤナギ、モミジ、ネコヤナギ、ブドウの 9 種は 70～50% の生徒が記入している。これらの樹種をみると、リンゴ、クリ、ナシ、ミカンなど食用のものが主になっているほか、スギ、イチヨウ、ヤシノキ、マツなど実際の身の回りの樹木というよりは、絵本や物語によく出てくるものであることが印象づけられる。

樹種別の知名度の順位は学年によってもちがい（表 5）、低学年では、食べ物と庭に見られる木が主体となっているが、高学年になってくると、食べ物主体から離れ、あげる種類も多くなる傾向が見られる。とくに 6 年では、エゾマツ、トドマツなど森林樹とみられるものが 70% 以上の知名度をもっているが、これは、6 年の 3 学期に「森林と生物」という学習單元があることによると思われる。このほか、4 年、5 年の部分には、かなり正確かつ豊富な記名を行なっている生徒があり、個人差は大きい。

表 - 3 小学生の樹木語彙教

1970 . 3 . 12 峰延小学校

学年 摘要		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	全体
		最 低	2	3	4	16	14	17
最 高	19	37	28	34	46	41	46	
平 均	11.8	16.2	13.9	19.0	29.4	29.9	20.4	

注 調査は 1 年 58 名 2 年 44 名 3 年 50 名 4 年 49 名 5 年 57 名 6 年 55 名

計 313 名について行なった。

表-4 小学生の樹木語彙

(数字は調査人数に対する記名者数の割合%)

1970.3.12 美唄市立峯延小学校

順位	学 年								順位	学 年							
	樹木名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全学年		樹木名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全学年
1	サクラ	91.4	88.6	100.0	95.9	93.0	98.2	94.6	44	ツバキ	1.7	9.1	8.0	30.6		7.3	9.0
2	リンゴ	74.1	90.9	88.0	93.9	89.5	96.4	88.5	46	キリ		47.7	6.0	2.0	1.8	1.8	8.6
3	クリ	86.2	84.1	62.0	89.8	98.2	100.0	87.2	47	グミ	1.7	4.5	2.0	16.3	5.3	20.0	8.3
4	ナシ	50.0	70.5	82.0	69.4	91.2	90.9	75.7	47	ツツジ	5.2		16.0		14.0	12.7	8.3
5	ミカン	77.6	77.3	52.0	61.2	91.2	76.4	73.2	49	フジ				0.6	7.0	32.7	8.0
6	スギ	82.8	31.8	76.0	51.0	87.7	85.5	70.9	50	アオキ						41.8	7.3
7	ドングリ	79.3	75.0	78.0	55.1	71.4	83.6	64.2	50	クロマツ				46.9			7.3
8	ボブライ	22.4	50.0	32.0	81.6	91.2	96.4	62.6	52	ナラ	3.4	4.5	2.0		1.8	29.1	7.0
8	イチヨウ	72.4	68.2	36.0	61.2	66.7	69.1	62.6	52	バラ	3.4	15.9	8.0	2.0	1.8	12.7	7.0
10	モモ	44.8	63.6	48.0	46.9	75.4	76.4	59.4	54	ナナカマド		2.3			21.1	14.6	6.7
11	ウメ	36.2	45.5	48.0	71.4	66.7	85.5	59.1	54	ヒイラギ					36.8		6.7
12	ヤシノキ	39.7	45.5	70.0	42.9	87.7	63.6	58.8	54	タケ	1.7				28.1	7.3	6.7
13	カキ	60.3	47.7	42.0	49.0	61.2	94.5	58.5	57	ツタ	0.3		0.4	8.2	7.0	12.7	6.1
14	マツ	77.6	90.9	94.0	73.5	10.5	9.1	57.2	58	ヤツデ		4.5		6.1	15.3	7.3	5.8
15	ウルシ	15.5	88.6	64.0	61.2	71.4	56.4	56.2	59	グスベリ	3.4	4.5	8.0	8.2	3.6	3.6	5.1
16	ヤナギ	55.2	47.7	28.0	46.9	71.4	83.6	55.6	59	ライラック						29.1	5.1
17	モミジ	44.8	22.7	24.0	49.0	96.5	67.3	52.4	61	シナノキ		6.8	2.0		19.3		4.8
18	ネコヤナギ	12.1	40.9	50.0	51.0	82.5	74.5	52.1	62	チャ			4.0	6.1	12.3	3.6	4.5
19	ブドウ	43.1	77.3	42.0	42.9	57.9	43.6	50.5	62	アスナロ				0.6	19.3		4.5
20	カエデ	46.6	38.6	18.0	49.0	75.4	60.0	48.9	64	ヤマブドウ	3.4	2.3	2.0	2.0	8.8	3.6	3.8
21	クルミ	3.4	13.6	16.0	51.0	82.5	74.5	41.2	64	ネムノキ					21.1		3.8
22	エゾマツ	1.7	2.3	2.0	26.5	82.5	96.4	37.1	66	キンカン				22.4			3.5
23	ゴムノキ	6.8	18.2	8.0	42.9	43.9	67.3	31.6	68	レモン		20.5		2.0		1.8	3.5
24	スモモ	12.1	31.8	12.0	26.5	56.1	41.8	30.4	68	カラスノミノ	3.4	4.5		8.2		3.6	3.2
25	トドマツ				8.2	87.7	70.9	29.7	68	スズカケノキ				20.4			3.2
25	モミノキ	13.8	4.5	12.0	34.7	36.8	70.9	29.7	71	イタリヤボブラ					17.5		3.2
27	オンコ	8.6	22.7	6.0	28.6	42.1	54.5	27.5	72	ヤマザクラ					2.0	11.0	4.0
28	シラカバ		29.5	2.0	6.1	50.9	69.1	26.8	73	ユキヤナギ					14.0		2.6
29	サクラソノ木				18.4	84.2	45.5	24.3	73	ナツミカン	1.7		4.0	8.2			2.2
30	カラマツ				6.1	84.2	45.5	24.3	73	シダレヤナギ				4.0	9.0		2.2
31	アカシヤ				1.6	61.4	54.5	23.3	73	ビワ					11.0	2.0	2.2
32	モクレン			34.0	63.3	12.3	1.8	17.9	73	レンギョウ					12.3		2.2
33	ヒノキ	1.7		6.0		28.1	56.4	16.3	78	ムクゲ					12.3		2.2
34	シイノキ	1.7	25.6			10.5	58.2	16.0	78	クワ		2.3	2.0		7.0		1.9
35	コブシ				1.6	31.6	36.4	14.7	78	ニセアカシヤ				12.3			1.9
36	カシ	3.4	6.8	4.0	2.0	45.6	20.0	14.4	81	プラタナス					4.0	7.0	1.9
37	コクワ	5.2	2.3	12.0	16.3	22.8	18.2	13.1	81	ソメイヨシノ					9.2		1.6
38	アカマツ		2.3		6.1	7.0	58.2	12.8	81	ヤエギク					9.2		1.6
39	ココアノ木		2.3	2.3	18.4	14.0	30.9	11.5	81	ウツギ					9.2		1.6
40	クスノキ		15.9	6.0	28.6	12.3	5.5	10.7	81	ソテツ					9.2		1.6
41	ブナ						60.0	10.5	81	シュロノキ					7.0	2.0	1.6
42	コナツの木	6.8	4.5	2.0	10.2	31.6		9.6	81	ハダキヨウ					9.2		1.6
42	クヌギ	3.4	6.8	12.0		7.0	27.3	9.6	81	アーモンドの木				10.0			1.6
42	トナリノキ				57.1			9.0	81	ヤマリンゴ			2.0		5.3	1.8	1.6

81	シラカシ				9.2	9.2	1.6	112	ウラジロ	1.7								0.3	
89	タモ		2.0	4.1	1.8		1.3	112	カシワ		2.3							0.3	
89	ゴヨウマツ	5.2				1.8	1.3	112	マングローブ		2.3							0.3	
89	スイミツの木				5.3	2.0	1.3	112	トウヒ		2.3							0.3	
89	サビタ				7.0		1.3	112	ケヤキ			2.0						0.3	
89	イチジク				7.0		1.3	112	フユミカン			2.0						0.3	
80	ガンビの木					7.0	1.3	112	ハゼ			2.0						0.3	
89	ヒガンザクラ				7.0		1.3	112	シャクナゲ			2.0						0.3	
89	コナラ		9.1				1.3	112	ヒメシャクナゲ			2.0						0.3	
99	ヌルデ		6.8				1.0	112	ボンカン				1.8	1.8				0.3	
99	ヤマウルシ				5.3		1.0	112	タランボ				1.8	1.8				0.3	
99	タユノキ				5.3		1.0	112	タイサンボク				1.8	1.8				0.3	
99	リュウケツジュ				3.6	1.8	1.0	112	ザボン								1.8	0.3	
103	ツタウルシ	3.4					0.6	112	ナツメ									1.8	0.3
103	ドウダンツツジ	3.4					0.6	112	ハマナス									1.8	0.3
103	ザクロ		2.3				1.8	0.6	112	ホップ								1.8	0.3
103	ホウノキ				3.6		0.6	112	ワタ									1.8	0.3
103	ボケ				3.6		0.6	112	サザンカ									1.8	0.3
103	クチナシ				3.6		0.6	112	ヒメダイダイ									1.8	0.3
103	アサダ					3.6	0.6	112	アジサイ									1.8	0.3
103	ブラム					3.6	0.6	112	ラワン									1.8	0.3
103	カツラ			2.0	2.0		0.6	112	ナンテン									1.8	0.3
112	ユリノキ					1.8	0.3	112	ハツサク									1.8	0.3
112	セコイヤ		2.3				0.3	112	ババヤ									1.8	0.3

注 調査は昭和45年3月12日美咲市立峯延小学校1年58人2年44人3年50人4年49人5年57人6年55人計313人についておこなったものである。

表一五 知名順位(50%以上の生徒があげたもの) 峯延小学校

順位	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
1		サクラ	リンゴ	サクラ	サクラ	クリ	クリ	サクラ
2		ク	リンゴ	マツ	リンゴ	モミジ	サクラ	リンゴ
3		スギ	サカ	リンゴ	ク	サクラ	リンゴ・ボブ	ク
4		ドングリ	ウ	ナシ	ボブ	ナシ・ミカン	リンゴ・ボブ	ナシ
5		ミカ	ク	スギ	マツ	ボブ		ミカン
6			リン	ヤシノキ	ウ		カキ	スギ
7		リン	ゴ	ウ	ナシ		ナシ	ドングリ
8		イ	ク	ク	モク	リン	スギ・ウ	イ
9		カ	ナシ	ミ	ク	スギ・ヤシノキ		イ
10		ヤ	イ	ネ	ウ	ト	ドングリ・ヤナギ	モ
11		ナ	モ	コ				ウ
12			ボ		ト			メ
13					チ	カ	ミ	ヤ
14					ノ	ラ	カ	シ
15					キ	マ	ミ	ノ
16					ス	モ	ノ	キ
17					ギ	モ	キ	ト
18					ウ	モ	モ	キ
19					ル	カ	エ	ダ
20					シ	ラ	カ	バ
21					カ	バ	イ	チ
22					ウ	ル	シ	ヤ
23					シ	ラ	カ	バ
24					イ	チ	ウ	ウ
25					メ	カ	エ	ダ
26					ブ	ナ		
27					カ	キ		
					ブ	ド		
					ウ	ル		
					シ	ノ		
					キ	ア		
					カ	マ		
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			
					ノ			
					キ			
					ア			
					カ			
					マ			
					ツ			
					ウ			
					ル			
					シ			

まちがい記名

表 - 6 にあけるように、その内容には実に多様なものがある。このなかでも、バナナやパイナップルが半数以上の生徒に木として記名されていることは注目に値しよう。このほか、すずき、くろやなぎ、ささきなど明らかに人名から考えだしたもの、たろうすぎ、おぼけやなぎ、お金の木など童話的なもの、かどまつ、わかまつ、かみつくる木、丸太の木、板の木など材料や製品をあげたものもある。このほか、杉木立、並木、雑木、まわりの木など、木の状態を記入しているものがあるのも樹木に対するポエジーのあるとらえ方が伺われて興味深い。また、これに近い表現として、らくようの木、のの木、やまの木、かいこの木、つるの木、はっかいどうのまつ、ほんしゅうまつ、四国まつ、九州まつなども見られるが、書いた心を察すれば間違いと言いきれない語群である。

表 - 6 小学生のまちがい記名

() は記名した人数 () のないものは1人の記名

調査 1970. 3. 12 美唄市立峯延小学校 313人

学 年	名 称	計
2 学年以上に またがってみ られるもの	バナナ(180)・パイナップル(63)・トマト(10) イチゴの木(5)・メロンの木(4)・森の木(2)・ナスの木(4)・ラクチョウ(14)・アサガオの木(3)・ウンコの木(6)・カラスウリの木(5)・カド松(16)・シイタケの木(6)・マツボックリの木(4)・キクの木(2)・ススキの木(6)・ウドの木(6)・トゲの木(2)・タバコの木(2)	19
1 年	アンカノミの木・カンノ・キリカブ・ヤマの木・モリの木・カイコの木・ドリタンの木・ハナの木・スギナの木・ヨシノ実・ヒマワリ	11
2 年	スイカの木・ピーマンの木・ナンパンの木・ヤマイモの木・エンドウマメの木(2)・ナワキ・キュウリの木・マワリの木・カラの木・プロペラの木・ツルの木・スミレの木・ヒャクジツソウの木・ハチミツの木・イリの木・ナスの木(3)	16
3 年	ノミ・ケシの木・リンジキ・リテンキ・ケモキ・マルタの木・ハヤシの木・ヨウシュヤマゴボウ(2)・ヤブカラシの木・ヘチマの木・モルタルの木・ツツキの木・オバケヤナギ・マギ・カリントウの木	15
4 年	ホッカイドウ松(4)・スズキ(2)・サタラ・本州マツ・オトバの木(3)・クロヤナモグの木(2)・ピーナツ(4)・クサマツ・スズの木(2)・カミツクル木・バムの木・ツグミの木・ハマ木・コザクラ・ヨモギ(3)・ヤノミ・エダマツ・キシワタノ木・クロッカスの木・サナギ(3)・マシの木・ツカン木・お金の木・フレップの木・タロウスギ・コペラの木・グレープフルーツの木	28
5 年	ナスナロの木(19)・アシビ(23)・ススキ(3)・ハシノ木(2)・若松・ヒイの木(4)・ガムの木(7)・杉木立(4)・パショウ(4)・マキ(5)・ハスの木(4)・エゾ(2)・四国松・九州マツ・ハナマツ・並木・サルノコシカケ(4)・ノリ・ウリの木・カラ・シナダレ・マツカバ(2)・コウノキ(2)	23
6 年	ササキ・コイデの木・ササ(2)・モズの木・ワカバ・ノの木・雑木(2)・クブナキ(3)	8
		120

方 言

方言ないしは慣用名とみられるものも多く見られ、上記の表の中からとりだすと次のようなものがある。

カラスの実の本（エゾニワトコ）グズベリ（スグリ）ウンコの木（オンコ）オバケヤナギ（シダレヤナギ、ウンリュウヤナギ）ラクヨウの本（カラマツ）プロペラの木（ヤチダモ）ハチミツの本（シナの本）マツバポックリの本（アカマツ）アオキ（針葉樹）ゾウキ（広葉樹）ドングリの木（ナラ）

東明中学校

樹木語彙（表一 7 表一 8）

最多記名者は 52 種をあげた 2 年生の男子、全校平均 1 人あたり 18 種、最少記名は 1 年生の 1 種となっている。峰延小学校にくらべて、記名されている樹種には大差がないが、まちがい記名が少なく、また、食べ物中心の回答が少なくなっていることがめだつことである。また、語彙数が予想に反じて小学校の峰延より少ない（平均で 4 種少ない）こと、個人差が一層大きいこと（峰延小学校 2～46 種に対して東明中学校では 1～52 種）が注目される。このほか、記名者の多い順では、小学校と同じようにトップにサクラがきているが、それに続いて小学校では下位にあるトドマツ、シラカバ、ポプラなどが上位にきていることがめだつ材料である。これらの記名種のうちで、峰延小学校には見られなかったものに次のようなものがある。

チーク、ミツマタ、コウゾ、ヒサカキ、サルスベリ、カラタチ、ヤツデ、ニレ、ボタン、クコ、カリンズ、エルム、サンショウ、ハマナス、ナンテン、ハウノキ、サツキ、ネムノキ、マタタビ、シュウリ、セコイヤ、ウスノキ、コショウノキ、コマユミ、アズ、ヒガンザクラ、の 20 種。

表一 7 中学生の樹木語彙数

調査 東明中学校 1970:4.7

学年	1 年	2 年	3 年	全体
最低	1 種	4	3	1
最高	33 種	5	31	52
平均	13.3 種	24.6	14.7	18.3

注 調査は 1 年 64 名 2 年 85 名 3 年 70 名 計 219 名について行なった。

表 - 8 中学生の樹木語彙

(数字は調査人数に対する記名者の割合%)

1970 4.7 美唄市立東明中学校

順位	樹木名	学 年	1年	2年	3年	全学年
1	サ ク ラ		85.9	84.7	92.8	87.7
2	ス ギ		67.2	82.4	74.3	75.3
3	ポ プ ラ		76.6	78.8	64.3	73.5
4	ク リ		76.6	70.6	60.0	69.0
5	ウ メ		60.9	68.2	64.3	64.8
6	リ ン		53.1	68.2	54.3	59.4
7	マ ツ		64.9	48.2	72.8	55.7
8	ト ド マ ツ		43.8	84.7	30.0	55.2
9	シ ラ カ バ		18.8	65.9	70.0	53.4
10	ナ シ		37.5	60.0	47.1	49.3
11	エ ゾ マ ツ		56.2	62.3	21.4	47.4
12	イ チ ヨ ウ		46.9	50.6	35.7	43.4
13	ヤ シ		32.8	47.1	42.8	41.6
14	ミ カ ル シ		34.4	44.7	42.8	41.1
15	ク ル ミ		39.1	43.5	34.3	39.3
16	ヤ ナ ギ		37.5	45.9	31.4	38.8
17	ア カ シ		18.8	56.5	28.6	36.5
17	カ ラ マ ツ		28.1	76.6	18.6	36.5
19	モ モ		39.1	30.6	40.0	36.1
20	モ ミ		28.1	44.7	28.6	34.7
20	カ キ		31.3	36.5	35.7	34.7
22	ブ ナ		31.0	56.5	24.3	30.6
22	モ ミ		34.4	32.9	24.3	30.6
24	ヒ ノ キ		28.1	43.5	13.7	30.1
25	ゴ ム		12.5	44.7	22.8	28.3
26	ア カ マ ツ		26.6	38.8	12.9	26.9
27	ラ ワ ン		0.2	45.9	21.4	25.1
28	サ ク ラ ン	ボの木	18.7	34.1	18.6	24.7
29	カ エ	デ	20.6	34.1	8.6	23.7
30	カ シ		12.5	30.6	22.8	22.8
31	タ ケ		6.3	15.3	17.1	22.4
32	カ ツ	ラ	4.7	43.5	8.6	21.0
32	シ イ		20.3	20.0	22.8	21.0
32	ナ ラ		7.8	37.6	12.9	21.0
35	ド ン	グリの木	10.9	23.5	25.7	20.5
36	ツ ツ	ジ	9.4	27.1	21.4	20.1
37	チ ー	ク	0.2	45.9	2.9	19.2
37	ウ ル	シ	10.9	32.9	10.0	19.2
39	ブ ド	ウ	14.1	12.9	22.8	16.4
40	キ リ		6.3	30.6	5.7	15.5
40	ア オ	キ	17.2	25.9	0.1	15.5
42	ネ コ	ヤ ナ	9.4	24.7	5.7	14.2
43	ツ バ	キ	47	27.0	2.9	12.8
44	セ ン		0	28.2	0.1	11.4

順位	樹木名	学 年	1年	2年	3年	全学年
44	ク ス ノ キ		3.1	25.9	0.1	11.4
46	コ ク ワ		7.8	16.5	5.8	10.5
46	ク ロ マ ツ		3.1	23.5	0.1	10.5
48	グ ミ		0	22.4	2.9	9.6
49	ソ テ ツ		0	21.2	0.1	8.7
50	イ チ ジ	クの木	0	20.0	0.1	8.2
50	カ カ オ	の木	0	16.5	5.8	8.2
50	オ リ ー プ	の木	0	21.2	0	8.2
50	オ ン	コ	3.1	15.3	4.3	8.2
54	バ ラ		4.7	14.1	2.9	7.8
55	ク ヌ	ギ	12.5	8.2	0.1	7.3
55	シ ナ		3.1	5.9	12.9	7.3
57	ミ ツ マ	タ	0	16.5	0.1	6.8
57	カ ヤ		0	17.6	0	6.8
59	ヒ バ		3.1	10.6	0.1	5.5
60	プ ラ タ	ナス	0	1.2	14.3	5.0
60	コ ウ	ゾ	0	12.9	0	5.0
60	ラ イ	ラ ック	6.2	5.8	2.9	5.0
63	ビ	ワ	1.6	8.2	0.1	4.1
63	コ ブ	シ	0	10.6	0	4.1
65	ボ ダ	イ ジュ	0	9.4	0	3.7
66	コ コ	ナツの木	0	2.4	8.6	3.7
66	ヤ マ	ザ ク	4.7	4.7	0	3.7
66	チ ヤ		0	8.2	0.1	3.7
69	ト	チ	0	4.7	4.3	3.2
69	オ ニ	グ ル	6.2	2.4	0.1	3.2
71	ク	ワ	3.0	0	4.3	2.7
71	キ ン	カ ン	0	8.2	0.1	2.7
71	ハ イ	マ ツ	1.1	4.7	0.1	2.7
71	ヤ エ	ザ ク	3.1	4.7	0	2.7
71	ス モ	モ	4.7	1.2	2.9	2.7
76	ボ ケ		0.2	2.4	2.9	2.3
76	ニ セ	ア カ シ	4.7	1.2	0.1	2.3
76	カ	バ	0	5.9	0	2.3
76	ガ ン	ビ	0	5.9	0	2.3
80	ア ス	ナ ロ	1.6	1.2	2.9	1.8
80	ヒ サ	カ サ	3.1	1.2	0.1	1.8
80	シ ャ	ク ナ ゲ	3.1	2.4	0	1.8
80	サル	ス ベリ	1.6	3.6	0	1.8
80	カ ラ	タ チ	0.4	7.0	0	1.8
85	ヤ ツ	ツ デ	1.6	1.2	0.1	1.4
85	ナ ツ	ミカンの木	0	1.2	2.9	1.4
85	イ チ	イ	0	1.2	2.9	1.4
85	ヒ イ	ラ ギ	0	1.2	2.9	1.4

85	ニ	レ	0	2.4	0.1	1.4	93	ホ	ウ	ノ	キ	0	0	2.9	0.9						
85	ナ	ナ	カ	マ	ド	4.7	0	0	1.4	93	イ	タ	リ	ア	ポ	プ	ラ	3.1	0	0	0.9
85	シ	ダ	レ	ヤ	ナ	ギ	1.6	2.4	0	1.4	107	サ	ツ	キ	0.2	0	0	0.5			
85	ボ	タ	ン			4.7	0	0	1.4	107	ネ	ム	ノ	キ	0	0	0.1	0.5			
93	カ	リ	ン	ズ		0	0	2.9	0.9	107	マ	タ	タ	ビ	0	0	0.1	0.5			
93	モ	ク	レ	ン		1.6	0	0.1	0.9	107	シ	ユ	ウ	リ	ザ	ク	ラ	0	0	0.1	0.5
93	プ	ラ	ム	の	木	0	1.2	0.1	0.9	107	セ	コ	イ	ア	0	0	0.1	0.5			
93	ブ	ヨ	ウ	マ	ツ	1.6	0.1	0	0.9	107	タイ	サン	ボ	ク	0	0	0.1	0.5			
93	コ	ナ	ラ			1.6	1.2	0	0.9	107	ザ	ボ	ン	0	0	0.1	0.5				
93	サ	ン	シ	ョ	ウ	0	2.4	0	0.9	107	ウ	ス	ノ	キ	0	0	0.1	0.5			
93	タ	コ	の	木		1.6	0	0.1	0.9	107	コ	シ	ョ	ウ	の	木	0.1	0	0	0.5	
93	ク			コ		0	1.2	0.1	0.9	107	コ	マ	ユ	ミ	1.6	0	0	0.5			
93	エ	ル	ム			0	2.4	0	0.9	107	ア	ン	ズ	1.6	0	0	0.5				
93	ハ	マ	ナ	ス		0	2.4	0	0.9	107	ソ	メイ	ヨ	シ	ノ	0	1.2	0	0.5		
93	ナ	ン	テ	ン		0	2.4	0	0.9	107	ヒ	ガン	ザ	ク	ラ	0	1.2	0	0.5		
93	ツ			タ		0	1.2	0.1	0.9	107	ヒ	メ	ダイ	ダイ	0	1.2	0	0.5			

注) 調査は昭和45年4月7日美唄市立東明中学校1年64人2年85人3年70人計219人についておこなったものである。

表-9 知名順位(50%以上の生徒があげたもの)

東明中学校

順位	学年				順位	学年																	
	1年	2年	3年	全体		1年	2年	3年	全体														
1	サ	ク	ラ	サ	ク	ラ					8				リ	ン	ゴ	ト	ド	マ	ツ		
2	ク	リ	ラ								9		シ	ラ	カ	バ				シ	ラ	カ	バ
3	ス	ギ		ス	ギ						10		エ	ゾ	マ	ツ							
4	マ	ツ		ポ	プ	ラ	シ	ラ	カ	バ	ク	リ											
5	ウ	メ		カ	ラ	マ	ツ	ポ	プ	ラ	ウ	メ											
6	エ	ゾ	マ	ツ	ク	リ																	
7	リ	ン	ゴ	ウ	メ	ゴ	ク	リ															

まちがい記名(表-10)

まちがい記名の数は峰延小学校にくらべて少なくなっているが、ジュウシマツやオソマツ、クニマツなど面白い記名もある。これは鳥の名前や今はやりの漫画の主人公の名前であろうと考えられるが、「マツ」と語尾につくことから木の名前とも考えたのだろうか。このほかではボンサイの木、ウエ木など、それなりに1つの木の名前として記情しているらしいもの、奈良の木(ナラのことか?)とか、黒杉、若松などの本当らしい名称も見られる。また、このほか多く見られるものとして、バナナ、パイナップル、カドマツがあり峰延とも共通しているものである。タバコの木も多くの生徒に記入されている。

方 言

峰延にくらべると記名数は少ない。これは中学生ぐらいになると普通の和名を使用することが多くなるせいであろうか。

表-10 中学生のまちがい記名

()は記名した人数()のないものは1人の記名

調査 1970.4.7 美唄市東明中学校 213人

学 年	名 称	計
2 学年以上に またがってみ られるもの	バナナ(60)・パイナップル(15)・ジュウシマツ(7)・インコノ木(3)・ウエキ(2)・ボン サ イ・リンドク(6)・スズキ(6)・アオイ(3)・ユプラ(2)	10
1 年	マツバ・スジ・ラクヨウ(2)・オニセン・パルプ・ウツボ・ヒジ	7
2 年	カドマツ(3)・コヅノキ・カブ木・ゾウキ(11)・クマデ(7)・ボラグノ木・ チョウセンマツ・林・エダマツ・クニマツ・ドン・エゾザクラ・ナミ木・ウボ ウギ・コウソウ・ヤブ木(3)・ヒメノ木・フリージャ・アシ・ヤシノミ・シダ アカダマ・黒杉・ツツノ木・ヒダ(2)・チール・ネコノ木・タヌ木・ハイエナ・ イキョウ・奈良の木・ケラ・若松・ヒガン松・ヒカキ・アヤメ・ゴブ・マエダ マの木・ココナシの木・タバコ(5)・インコノ木(3)・コウボウ(4)・シン(1)・ミツ バタ・枯れ木・リチツの木	48
3 年	アシ・マツカサ・ゴマの木・トゲの木・メロン・ワシ・パルサ・キキョウ・ノ ギスノ木・アカギ・ウド・クユミ	12
		77

問題点

以上の調査のなかからいくつかの問題点をひろいだしてみると次のことが考えられる。

1、教科書に記載されている教材と実際の教材との遊離

前述のように、空知支庁管内で現在使用されている教科書は、本州の動植物が主として掲載されているので、そのなかに含まれる教材が北海道では実際には用いることのできないものが多い。

表-11 記名された樹木の身近かさ(空知地方)

比較的身近のもの				身近に見ることの困難なもの			
道 内 在 来 種	移 入 種	道 内 在 来 種	道 外 種	道 内 在 来 種	道 外 種	道 内 在 来 種	道 外 種
サクラ	グミ	スモモ	アジサイ	シウリザクラ	スギ	ワタ	ヒメダイダイ
クリ	ナラ	ニセアカシア	ウツギ	ブナ	イ		
ドングリ	ナナカマド	トウヒ	ユキヤナ	アスナロ(ヒバ)	ミカン	ハッサク	パイア
ウルシ	グスベリ	ギ	レンギョ	コナラ	モモ	オリーブ	ミツマタ
モミジ	ヤマブドウ	リンゴ		ヌルデ	ヤシノキ	カヤ	コゾウ
カエデ	ゴヨウマツ	ウ	ムクゲ	ツタ	(ココナツ)	サルスベリ	ヒサカキ
オンコ	ツタウルシ	ポプラ			カキ	モチノキ	カラタチ
コブシ	アサダ	ウメ			カシ	ミザクラ	コショウ
トチノキ	カシワ	クルミ			クスノキ	アカシア	
ツツジ	アカエゾマツ	ゴムノ木			クヌギ	モクレン	
	ヒメシャクナ	フジ			キリ	シイ	
ゲ		ヤツデ			ヒイラギ	ココア	
シナノキ	ハマナス	スズカケ			チロ	ツバキ	
ニワトコ	オニグルミ	(プラタナス)			キンカン	アオキ	
タモ	マタタビ	シダレヤナギ					
		ヤエザクラ					
		ボケ					

サビタ	ウスノキ	サザンカ		ナツミカン	タケ
ヤマウルシ	エゾマツ	ボタン		ビワ	ネム
ハウノキ		サツキ		クワ	レモン
カツラ		ナシ		ソテツ	ウツギ
シャクナゲ		イチョウ		ハンタキョウ	シュロ
カラノキ		ブドウ		イチジク	アーモンド
ニレ(エルム)		カラマツ		タコノキ	スイミツ
コマユミ		アカマツ		ザクロ	ヒガンザクラ
マツ		クロマツ		プラム	リュウケツジュ
ヤナギ		ライラック		セコイア	クチナシ
ネコヤナギ		イタリヤボブラ		マングローブ	ユリノキ
トドマツ		ソメイヨシノ		ハゼ	ウラジオ
シラカンバ(ガンピ)		ケヤキ		タイサンボク	ボンカン
コクワ		ドウダンツツジ		ナツメ	ホップ

(表 - 11) この点を考慮してか、教科書とは別個に発行されている教師用の指導書には、北海道向きの教材や資料が豊富に解説されていて、実際の教材はこれによっているとのことである。しかし、生徒たちの目に触れる教科書と実際に使用する教材とがちがうことはやはり問題であろう。

2、教科書の内容と実際の知識との遊離

空知支庁管内では、小学校から中学校まで、同一系統の教科書を段階を追って使用しているにもかかわらず、生徒の記名内容が必ずしも学年別に順を追って豊かになっていないこと。また、小・中学校の差はあれ、峰延・東明という場所のちがいによって記名がちがっていることなどから、生徒の知識は一部を除いて、教科書の程度と一致せず、その知識は教科書から得られるより、学校の環境や、生活の環境のなかで得られることが多いものと考えられる。

3、生徒の知識と実物との遊離

生徒の記名総数は想像以上に多かったけれども、そのなかには北海道に生育いこくいものが多くあって、記名した本人が実際のものを知らないと考えられるものが多い。また、小学生の低学年ではともかくとして、高学年にいたっても、草本、果実など植物には何でもあたりしだいに.....の木とつけていたり、書きかたにあやふやなものがあつたりで、木に対する明確な認識が欠けている回答も多かった。そのほか、中学生にもバナナやパイナップルを木とする回答が多く、ひるがえって、私たちの身の回りの大人たちにためしてみてもバナナやパイナップルを木と思っている人の多いことと合せて問題を感じさせられる。

以上のような問題は、生徒のおぼえかたや、教科書の教材にばかりではなく、教える先生方や学校の環境、家庭にこそ多く原因を有するようである。ある教師によれば、教師自身が、校

庭などにはえている樹木（ばかりでなく草花も）の実際の名前を知らないことが多く、また、樹や草の名前を勉強する興味や余裕をもつことが少ないということである。

おわりに

たまたま、便宜をはかって下さった峰延小、東明中での、わずかな調査で、最初の意図とは多少ちがった方向へ、少し性急すぎる問題提示をおこなったきらいがあるが、今後機会があれば、これをもとに、青少年とこれからの森林や林業とのかかわりかたを明らかにするよう調査と考察をすすめてゆきたいと考えている。

何はともあれ、この少年たちが社会の第1線に立つ時代には、いわゆる情報化社会化（地域性の喪失）材料産業の変化（本材に対する考え方の変化）メガロポリス化（人口の大都市集中、過疎化現象）などの大きな流れのなかで、生活の様式は変わってゆき、森林に対する仕事のやりかたや感じかたもちがったものになるにちがいない。この時代へ森林のもつ正しい意味を伝えることは私たちの責任であろう。

資料 植物関係の単元と学習内容

（ ）は配当時間数 は樹木をあらわす。

（調査教科書は昭和44年度東京書籍株式会社出版理科）

学 年	単元番号	単 元 名	学 習 内 容	出 現 植 物 名
小 1	1	きれいなはな（1）	花だんや庭木の花の観察	ヒヤシンス・サンショクスミレ・チューリップ スイセン・ <u>サクラ</u> ・ <u>ソメイヨシノ</u>
2 3 単 元 5 8 時 間	3	あさがお（1）	アサガオのたねまき 発芽の観察	アサガオ
	4	はるのはな（4）	春の野原の花や虫の 観察 草つみ 花束づくり	タンポポ・スミレ・シロツメクサ レンゲソウ・ナノハナ・アブラナ
	9	なつのはなと むし（4）	夏の野原の花・虫な どの観察 葉や茎をつかった遊 び	ツククサ・ホタルブクロ・ヒメジョオン アザミ・オオバコ・スギナ・ヤエムグラ・ササ
	10	なつのかだん（3）	花だんの花の観察 アサガオの観察	マツバボタン・ホウセンカ・ヒャクニチソウ グラジオラス・ヒマワリ
	12	あきのはなと むし（5）	秋の野原の花・虫な どの観察 バッタのとび方調べ とバッタの観察	オミナエシ・イヌタデ・アキノキリンソウ ヒヨドリバナ
	14	あきのかだん（2）	花だんの花の観察 アサガオのたねとり	コスモス・サルビヤ・キク

	1 5	もみじと どんぐり (5)	色づいた葉や実の 観察と採集 木の葉の色による 分類、形づくり	カエデ・ <u>ドウダンツツジ</u> ・ <u>ツタ</u> ・ <u>カキ</u> <u>ポプラ</u> ・ <u>イチヨウ</u> ・ <u>クリ</u> ・ <u>ケヤキ</u> ・ <u>カシ</u> ・ <u>シイ</u>
	1 6	くだもの (3)	くだものの観察 あぶりだし	<u>リンゴ</u> ・ <u>カキ</u> ・ <u>ミカン</u> ・ <u>ハゼ</u>
	2 3	ひなたとかげ (3)	日なたと日かげ (校庭) 日なたと日かげ (野外)	フキノトウ・オオイヌノクグリ・シクシ スズメノカタビラ
小	2	はるやま (4)	春の野山の草花や虫 の観察と採集 野外学習の整理 (1)	ハコベ・ホトケノザ・ハハコグサ・ナズナ スマレ・タンポポ
2 2 単元 7 0 時間	3	はるのたねまき (4)	草花の種子まきと 球根植え 発芽や生長のようす の観察 苗のせわ	ヒマワリ・ヒャクニチソウ・ホウセンカ グラジオラヌ・ダリア
	7	田やはたけ のむし (3)	田畑の虫の観察と 採集	キャベツ・ジャガイモ・ニンジン キュウリ
	8	なつのやま (4)	夏の野山の草花や虫 の観察と採集 (3) 野外学習の整 (1)	コマツナギ・ナンテンハギ・オニユリ ノカンゾウ
	11	あきのたねまき (3)	種子とりと球根掘り (2) 秋の種子まきと球根 植え (1)	ヒャクニチソウ・ホウセンカ・ヒマワリ グラジオラス・ダリア・アブラナ・ キンセンカ・クロッカス・チューリップ・ スイセン・ヒヤシンス
	1 2	あきのやま (4)	秋の野山と草花や虫 の観察と採集 (3) 野外学習の整理	カヤツリグサ・アキノエノコログサ アキノノゲシ・ツリガネニンジン メヒシバ・スベリヒコ
	1 4	木のはと 木の実 (4)	木の葉や木の実の 観察と採集 (3) 野外学習の整 (1)	<u>マツ</u> ・ <u>スギ</u> ・ <u>ツバキ</u> ・ <u>ヒサカキ</u> ・ <u>ニシキギ</u> <u>ヌルデ</u> ・ <u>クリ</u> ・ <u>サルトリイバラ</u> ・カラスウリ イヌホウズキ・ <u>クヌギ</u> ・ <u>ガマズミ</u> ・ジュズダ マ
	2 2	はるがくる (2)	早春の校庭や野外の 草木のようすの観察	ヤマノイモ・ <u>シイ</u> ・ <u>コナラ</u> <u>サクラ</u> ・ <u>モクレン</u> ・ <u>ツバキ</u> ・アブラナ サンショクスマレ・キンセンカ・キク・チュ ー リップ・スイセン・クロッカス・ネコヤナギ モモ・セリ・ヨモギ

小	3	3 1 単 元 103 時間	1	はるのころ	サクラ・ツバキ などのようすやそのほ かの生物の観察(3) 温度計を使って温度 のはかり方 (1) 春の天気や日ざしの 長さの観察と記録(1) 生物調べの記録の 整理とそのまとめ(1) 天気調べの記録の 整理とそのまとめ(1)	タンポポ・アブラナ・スミレ・ <u>サクラ</u> <u>タチツボスミレ</u> ・ <u>ムラサキサギゴケ</u> カタクリ・ナズナ・ヘビイチゴ キツネボタン・クサボケ オドリコソウ・カラスノエンドウ レンゲソウ・シロツメクサ・ニガナ ノゲシ・ <u>ヤマブキ</u> アブラナ・ <u>ヤマツツジ</u>
			2	アブラナの花(2)	アブラナの花の つり (2)	
			3	たまねぎと かぶわけ	ヘチマの種子まき	ヘチマ・キク・カンナ
			8	さし木	キクやカンナの かぶわけ (1) さし木のしかたと さし木の作業 (1) さし木した植物のよ うすと根の出かたの 観察 (1)	キク・カンナ <u>ヤナギ</u> ・ <u>アジサイ</u> ・ <u>カエデ</u> ・ <u>マサキ</u> <u>イチジク</u> ・キク・マツバボタン
			1 1	夏のころ	サクラ・ツバメなど のようすやその他の 生物の観察 (2) 夏の天気や日ざしの 長さの観察と記録(1) 生物調べの記録と 整理とそのまとめ(1) 天気調べの記録と 整理とそのまとめ(1)	<u>サクラ</u> ・キク・ヒメシオン・ナデシコ <u>オトギリソウ</u> ・キキョウ・ <u>アジサイ</u> ヒルガオ・アヤメ・オオマツヨイグサ カタバミ・ドクダミ・オニユリ ナカンゾウ・コバギボウシ
			1 2	ヘチマの花	ヘチマのめ花・ のつくりの観察(1)	カモジグサ
			1 4	ヘチマの実 (2)	ヘチマの実のでき方 と実のつくり調べ(1) ヘチマの水のとりの 実験	ヘチマ
			1 6	秋のころ (5)	サクラ・ツバメなど のようすやその他の 生物の観察 (2) 秋の天気や日ざしの 長さの観察と記録(1) 生物調べの記録の	サクラ・キク・リンドウ・ヒガンバナ ワレモコウ・オミナエシ・ミズヒキ ツルボ・クズ・センダングサ・オナモミ・メ ナ モミ・ヌスビトハギ・ノハラアザミ イノコズチ

	18	エンドウの	整理とまとめ (1) 天気調べの記録の 整理とまとめ (1) エンドウやヤグルマ ギクの種子まき(1) エンドウなどの育ち かた調べと世話(1) エンドウなどの霜よ けと、温床での栽培 霜よけしたものとし ないもの、温床にい れたものといれない ものの比較 (1)	エンドウ・ヤグルマギク	
	20	水さいばい (2)	ヒヤシンスなどの水 栽培の観察の計画(1) ヒヤシンスなどの成 長、開花の観察と球根 のはたらき (1)	ヒヤシンス・クロッカス	
	25	冬のころ (5)	サクラ・ツバメなど のようすやその他の生 物の観察 (2) 冬の天気や日ざしの 長さの観察と記録 冬の生物調べの記録 の整理とまとめ(1) 冬の天気調べの記録と 整理とまとめ (1)	<u>サクラ</u> ・ <u>キク</u>	
	31	きせつの うつりかわり	季節による天気のうち つりかわりと日ざしの 長さの変化のまぢめ 季節による生物のよ うすや種類のうつりか わりのまとめ		
小	4	2	いもの そだちかた (6) ジャガイモの	ジャガイモ 植えつけ (2) ジャガイモの 育ちかた (1) サツマイモの 植えつけ サツマイの 育ちかた (1)	ジャガイモ・サツマイモ・ <u>ダリア</u> サトイモ・キクイモ
26単 元 105時間		3	虫の一生 (4)	モンシロチョウの印 の採集観察・飼育(2)	<u>サンショウ</u> ・ <u>カラタチ</u> ・ <u>ミカン</u>

			<p>モンシロチョウの一生のまとめ (1)</p> <p>カとハエの一生 (1)</p> <p>エンドウの育ちかたと花のつくり (2)</p> <p>エンドウの実のつくり (1)</p>	<p>エンドウ・ソラマメ・フジ</p>
		4	<p>エンドウの花と実 (3)</p>	
		5	<p>ニワトリと</p> <p>ニワトリの形態生態の観察と世話 (2)</p> <p>ウサギの形態生態の観察と世話 (2)</p>	<p>ニンジン・<u>アオキ</u>・ハコベ・タンポポ</p> <p>ドクゼリ・トリカブト</p>
		6	<p>海への生物 (4)</p> <p>しおのみちひきの観察</p>	<p><u>アオキ</u>・カジメ・ホンダワラ・トサカノリ</p>
		8	<p>池や小川の植物 (4)</p> <p>池や小川に見られる植物 (3)</p> <p>ウキクサのふえかた (1)</p>	<p>ミル・テングサ・ハマボウフウ・ハマエンドウ</p> <p>ハマヒルガオ・コウボウムギ</p> <p>アシ・マコモ・クワイ・コウホネ</p>
		1.4	<p>でんぷん (5)</p> <p>でんぷんのとりにでんぷん含むもの</p>	<p>ハス・エビモ・セキシヨウモ・ホテイ・アオイ</p> <p>ウキクサ</p> <p>ジャガイモ・サツマイモ</p>
		1.8	<p>冬と生物 (3)</p> <p>校庭や野原の植物や動物の観察</p> <p>わたり鳥</p>	<p><u>サクラ</u>・<u>マサキ</u>・<u>モクレン</u>・<u>ツバキ</u></p> <p>ススキ・キク・ナズナ・ヒメジョオン</p>
小	5	1	<p>花のつくり (7)</p> <p>花と虫、アブラナの花のつくり (2)</p> <p>花粉調べ (2)</p> <p>いろいろな花</p>	<p>アブラナ・ダイコン・ナズナ・ハマダイコン・<u>ソメイヨシノ</u>・<u>モモ</u>・<u>ナシ</u>・クセボケ・<u>ヤマツツジ</u>・<u>オオムラサキ</u>・<u>サツキ</u></p> <p>ドウダンツツジ・タンポポ・ヒメシオン・ハルシオン・オオジシバリ・チューリップ</p> <p>コヒルガオ・ホタルブクロ</p> <p>アサガオ・ヘチマイネ・ダイズ・トウモロコシ・<u>カキ</u>・インゲンマメ・カボチャ・エンドウ</p> <p>トウモロコシ・コムギ・アブラナ・ダイコン</p>
		2	<p>たねの発芽</p> <p>種子の発芽と水や温度 (1)</p> <p>種子のつくり (1)</p> <p>子葉と胚乳のはたらき (2)</p>	
		3	<p>イネの育ちかた</p> <p>植物の生長と日光</p> <p>もみ選びともみまき (2)</p> <p>イネの間引き (1)</p>	<p>イネ・イヌビエ・ウキクサ</p>

		1 0	カボチャの花	イネの成長 (1) カボチャやトウモロ コシの花のつくり カボチャの実や種子 のできかた (1)	カボチャ・トウモロコシ・アブラナ
		1 1	イネの花と実 巻末の図かん	イネの花の観察 (1) イネの実のできかた	イネ・ムギ キキョウ・ツリガネニンジン・ヒメシャジン オオドリコソウ・サルビア・ホトケノザ・ アサガオ・ヒルガオ・ルコンソウ・オニユリ ノカンゾウ・ギボシ
小	6	4	植物のつくりと はたらき (8) 植物とで んぷん	植物と水 植物とでんぷん 植物と呼吸	ハウセンカ・スズメノテッポウ・ムラサキ ツククサ ネギ・サツマイモ ジャガイモ・クワ・ソラマメ・タグルマギク アジサイ ワタ・コウゾ・ミツマタ・ガンピ
2 3 単 元 140 時間		8	せんい (7)	せんいの形 (もめん 羊毛) せんいの性質 (もや した時、熱を加えた時) 紙のつくりかた	アカマツ・トドマツ・エゾマツ・ブナ コメツガ・シラカシ・ダブノキ・アセビ ヤブコウジ・クロモジ・アケビ・シャクナゲ・ ツタ・シダ・スギ・ヒノキ・マツ・ ブナ・クヌギ ヒサカキ・アオキ・クリ・アカマツ
		1 1	森林と植物 (5)	森林の観察 森林と生物のあいだ のつながり 森林のはたらき	エゾマツ・シイ・イチヤクソウ・モミジガサ コケ・オシダゼンマイ・ノキシノブ マメズタ・キズタ・フジ・ヤドリギ
		1 2	キノコ	いろいろなきのこ きのこのからだのつ くりとふえかた	
中	1	B - 1	生物の種類 植物の種類と ふえ方	1 . 花と種子について	シロツメグサ・アブラナ・サクラ・タンポポ エンドウ・レンゲソウ・カラスノエンドウ・ フジ・イヌガラシ・ノイバラ・ノゲシ・ナズ ナ モモ・オオジシバリ・カブ・ハナカイドウ アヤメ・ユリ・コムギ・イネ・クリ・ヤナギ チューリップ・ヒヤシンス・ネギ・トウモロ コ シ・ホウレンソウ・タマネギ・キャベツ・ニ ン ジン・オオバコ・エノコログサ・カシ マツ・スギ・イチョウ・ソテツ・インゲンマ メ

中 大単元 9 中単元 29	B - 2	植物の種類と水	2. 胞子について	キュウリリ・ <u>カキ</u> ・コムギ ワラビ・スギゴケ・マツタケ・スギナ スギゴケ・ゼニゴケ・リュクソウ カッソウ・コウソウ・アオサ・アオホリノ コンブ・ワカメ・アサクサノリ・テングサ ヒジキ・ミル・アオミドロ・ミカ スギモ・ツツミモ・ケイソウ・クロレラ アシダ・ヒメジョオン
		植物の種類と 栄養のとり方	1. 葉緑素をもたない 植物	カビ・キノコ・アオカビ・コウジ・カビ コウボキン・シイタケ・マツタケ・コンブ ワカメ・テングサ
		生物の世界	葉緑素をもっている 植物 1. 細胞	アオミドロ・ゼニゴケ・スギゴケ・ ワラビ・ゼンマイ・スギナ・ <u>イチヨウ</u> <u>マツ</u> ・ <u>ソテツ</u> ・ <u>サクラ</u> ・エンドウ タマネギ・コウボキン・ケイソウ アブラナ・アザミ・ <u>カキ</u> ・エンドウ シロツメクサ・ <u>マツ</u> ・アヤメ・タンポポ コウジカビ・マツタケ・アオカビ・アオミドロ アオカビ・ <u>スギ</u> ・スギナ・ <u>イチヨウ</u> スギゴケ・コンブ・ゼニゴケ・ネギ・ アサクサノリ・クロレラ・ワラビ ダイズ・オオムギ・トウモロコシ カボチャ・アサ・キュウリ
		環境と生物 環境と生物 との関係	1. 種子の発芽の条件 2. 環境要素と生物	ダイコン・ハウレンソウ・マツタケ・ヒルムシ ロ・コウホネ・アシ・ヒマワリ・サボテン・ <u>シ</u> <u>ラカバ</u> ・ <u>シイ</u> ・イネ・ <u>アオキ</u> <u>アカマツ</u> ・アサガオ・ハス・ゴボウ モクレン・アブラナ・アヤメ・ <u>サクラ</u> <u>ツバキ</u> ・スイートピー・チューリップ・キク ネナシカズラ・ススキ・ナンバンギセル <u>ヤドリギ</u> ・ウメノキゴケ・サルオガセ
		生物どうしのつ つながり	1. 食物によるつながり 2. 2. 植物群落	コケ・マコモ・アシ・ハマヒルガオ コウホウムギ・ハクサンイチゲ <u>トドマツ</u> ・ <u>シラカバ</u> ・ <u>カシ</u> ・ <u>シイ</u> ・ <u>シラビソ</u> ・ <u>トドマツ</u> ・ <u>エゾマツ</u> コケモモ
		生物の分布	1. 植物の分布	
	B - 1	植物のはたらき 水と栄養の吸収 水の養分の移動	1. 水の吸収 1. 根と茎のしくみ	<u>セコイヤ</u> ・ <u>ユーカリ</u> ダイコン・コケ類・ソウ類・ライムギ・ソバ トウモロコシ・ホウセンカ・ソラマメ・ ヘチマ・ <u>マツ</u> ・ <u>イチヨウ</u> ・シダ類 コケ類・ソウ類・ <u>タケ</u>

		光による栄養分の合成 植物の呼吸 その他・問題など	2. 蒸散 1. 植物の成長と光 1. デンプンの移動と貯蓄	<u>ツククサ</u> ・ <u>ソラマメ</u> ・ <u>ツバキ</u> ・ <u>マサキ</u> <u>ヒイラギ</u> ・ <u>アサガオ</u> ・ <u>クワ</u> ・ <u>アヤメ</u> ・ <u>ユリ</u> ・ <u>エンドウ</u> ・ <u>クロモ</u> <u>コムギ</u> ・ <u>インゲンマメ</u> ・ <u>ジャガイモ</u> ・ <u>イネ</u> <u>インゲンマメ</u> ・ <u>メタセコイヤ</u> ・ <u>ユーカリ</u> ・ <u>ヤマブキ</u> ・ <u>タケ</u>
中 3 大単元 9 中単元 29	B - 1	生殖と遺伝 生物のふえかた 植物の生長と細胞分裂 遺伝と異変 品種の改良と生物資源 その他問題など	1. 無性生殖 2. 有性生殖 1. 植物の生長 2. 細胞分裂 1. 形質と遺伝 2. メンデルの法則 3. 染色体と遺伝子 4. 変異 1. 品種改良と方法	<u>ケイソウ</u> ・ <u>コウボキン</u> ・ <u>コウジカビ</u> <u>アオカビ</u> ・ <u>マツタケ</u> ・ <u>シイタケ</u> <u>ヤマノイモ</u> ・ <u>オニユリ</u> ・ <u>オランダイチゴ</u> <u>ユキノシタ</u> ・ <u>タケ</u> ・ <u>ジャガイモ</u> ・ <u>アヤメ</u> <u>サクラ</u> ・ <u>アブラナ</u> ・ <u>トウモロコシ</u> ・ <u>アオキ</u> <u>キュウリ</u> ・ <u>カボチャ</u> ・ <u>マツ</u> ・ <u>アサ</u> ・ <u>エンドウ</u> <u>ツツジ</u> ・ <u>ユリ</u> ・ <u>コムギ</u> ・ <u>カキ</u> ・ <u>ホウセンカ</u> <u>ソラマメ</u> ・ <u>イネ</u> ・ <u>トウモロコシ</u> ・ <u>タケ</u> ・ <u>ダイズ</u> ・ <u>タンポポ</u> ・ <u>ダイコン</u> ・ <u>カボチャ</u> <u>タマネギ</u> ・ <u>クロッカス</u> ・ <u>エンドウ</u> ・ <u>アサガオ</u> <u>エンドウ</u> ・ <u>キンギョソウ</u> <u>ヤマユリ</u> ・ <u>ムラサキツユクサ</u> ・ <u>インゲンマメ</u> ・ <u>エンドウ</u> ・ <u>ヒメジョオン</u> <u>イネ</u> ・ <u>バラ</u> ・ <u>アサガオ</u> ・ <u>トウモロコシ</u> <u>ミカン</u> ・ <u>リンゴ</u> ・ <u>カキ</u> ・ <u>トマトワタ</u> <u>アオカボ</u> ・ <u>シロツメクサ</u>
	B - 3	地球の歴史とせいぶつの変化 地球の歴史 生物進化 生物の系統と分類 その他・問題など	2. 地球の歴史 2. 進化の説明 1. 生物の系統 2. 生物の分類 2. 生物の分類	<u>イチヨウ</u> ・ <u>リンクボ</u> ・ <u>ロボク</u> <u>フウイン</u> ・ <u>ボク</u> ・ <u>ソウ類</u> <u>オオマツヨイグサ</u> <u>ソテツ</u> ・ <u>シダ</u> ・ <u>リンクボク</u> <u>ソウ類</u> ・ <u>リョクソウ類</u> ・ <u>コケ類</u> <u>ソテツ</u> ・ <u>イチヨウ</u> ・ <u>マツ</u> ・ <u>アブラナ</u> <u>ダイコン</u> ・ <u>バラ</u> ・ <u>ウメ</u> ・ <u>サクラ</u> <u>エンドウ</u> ・ <u>ダイズ</u> ・ <u>ツツジ</u> ・ <u>アサガオ</u> <u>キュウリ</u> ・ <u>キキョウ</u> ・ <u>タンポポ</u> <u>イネ</u> ・ <u>ムギ</u> ・ <u>ユリ</u> ・ <u>ネギ</u> ・ <u>アヤメ</u> <u>アランダイチゴ</u> ・ <u>イトヤナギ</u> ・ <u>ヤナギ</u> <u>カエデ</u>